

【一】

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

現在三浦半島^{みづのうみ}一带に、アライグマが大繁殖^{だいはんしよく}していると、あるテレビの番組が伝えていました。畑を荒^あらしたり、人家に住み着いて家を汚^{きた}したりという被害^{ひがい}が相次ぎ、何とかその数を減らそうと捕獲^{ほくわく}作戦を行っても、なかなか成果が上らず、このままでは日本中にアライグマが住み着いてしまうことになりかねない^Aと専門家は心配しているというのです。

アライグマは日本にもとからいた動物ではありません。北アメリカや中央アメリカに住んでいた動物で、日本では動物園でしかお目にかかれないう動物だったのです。そんなアライグマがなぜこんなに日本で大繁殖¹をするようになったのでしょうか。

アライグマは、日本ではペットとして飼われはじめました。そのきっかけは、おそらく一九七七年からテレビで放映されたアニメ番組「あらいぐまラスカル」でしょう。アライグマのラスカルのかわいらしさは、たちまち日本中の子どもたちをとりこにし、ラスカルブームが起きました。このとき、多くの家庭でアライグマが飼われることになったのです。ところが、子どものうちはかわいいアライグマも、半年もしないうちに手に負えないほど強暴になり、多くの家庭ではそういうアライグマを飼い続けることができずに捨ててしまったのです。捨てられたアライグマは、その持ち前の適応力を生かして、日本という異国で生き延びてきました。そして大繁殖するまでになったのです。

初めて大繁殖が確認^{かくにん}されたのは北海道で、牧場や農場での被害が相次ぎました。とくにアライグマの大好物であるトウモロコシへの被害は大きく、事態を重視した自治体は、平成九年からアライグマの捕獲を開始し、捕獲したアライグマを薬殺してきました。平成九年だけで、捕獲されて殺されたアライグマは二百頭近くになります。

アライグマの赤ちゃんを売つてもうけようとする人間によって日本に連れてこられ、かわいいから飼いたいという自分勝手な人間によって飼育され、あてがはずれたからという理由で捨てられ、その後、なれない環境^{かんきやう}に懸命^{けんめい}に適応して繁殖したら「害獣^{がいじゆう}」だということで殺されるアライグマ。このアライグマの問題をどう考えたらよいのでしょうか。

人間に害を及ぼす動物^{ちやう}なんだからどんどん捕まえて殺せばいいと主張する人もいます。しかし、一方では、人間が勝手に連れてきたのだから、殺すのではなく、捕獲して、もといたところに返す義務が人間にはあると考える人もいます。

前者の考えは、単純ですが、それだけに人を引きつける力があります。けれども、人間に害を及ぼすという理由だけで、その動物を殺し続けてよいものでしょうか。人間にとつて都合の悪い動物は²ほとんどこの世から排除^{はいじよ}していつてよいという考え方はとても危険です。「人間にとつての都合」というのは決して絶対不変のものではありません。セミの声をうるさいと感じる人にとつてはセミは「都合の悪い」生き物ですが、そう感じない人にとつては決して「都合の悪い」生き物とはいえません。したがってそこでは「だれ」の都合か、ということが大きな問題になるわけで、よほど慎重^{ちやう}に考えなければならないのです。

後者の考えは、とても真面目^{まじめ}にアライグマの問題に向きあっていますが、この考えをほんとうに実行に移そうとすると様々な困難がありそうです。けれども、どんなに困難であつても、実行する価値はあるでしょう。それは単にアライグマがかわいいそうだから救おうということではなく、人間と動物との関係のあり方、さらには人間の生き方を考え直すきっかけにもなるからです。

そもその問題の発端^{はつたん}は、外国にしかないなかった野生動物を飼育しようとしたこと、それも、正確な知識もなく飼育しようとしたことにあります。なぜ飼育しようとしたのかは、前にも述べたとおり、「ラスカルがかわいいから」ということでした。実は、ここに最も重大な問題があるのです。ラスカルがかわいいのは確かでしょう。けれども、現実のアライグマはラスカルではないのです。ラスカルはあくまでアニメのキャラクターにすぎません。それは、人間が勝手にこしらえたキャラクターです。ラスカルは、大きくなつても優しい動物として描^{えが}かれます。けれども、現実のアライグマはそうではないのです。こんなことは、誰^{だれ}にでも分かるはずのことなのですが、実際にはあまりきちんと理解されていません。

このことを少し難しいことばでいうと、現実とフィクションの混同という問題です。フィクションというのは、人間の頭で作り上げたもののことをいいます。「スター・ウォーズ」や「ハリー・ポッター」などは典型的なフィクションです。もちろん、アニメ映画もフィクションです。映画がまだそれほど普及^{ふきやう}していなかったころは、映画で悪者を演じた俳優が、町を歩いていると本当に悪い人間だと思われて嫌^{きら}われたというようなことがよく起こったといえます。人気俳優が出る映画では、スクリーンに向かってファンが殺^{ころ}したというような話もあります。さすがに、現在ではそのようなことはないでしょうが、これに似たことは私たちの周囲にいくらでも起きているのです。

⁴アニメに登場したアライグマのかわいさに感動して、本物のアライグマを飼つてしまう人は、スクリーンに映し出された俳優に殺到するファンと五十歩百歩なのです。どんなにアニメのアライグマがかわいくても、あくまでそれはフィクションであり、現実のアライグマとは違^{ちが}うのだということがはつきりと分かっているならば、不用意にアライグマを飼うこともなかったでしょう。そうすれば、アライグマの悲劇もなかったのです。

そしてもうひとつ大事なことがあります。いくら不用意とはいっても、アライグマを買い、飼育した以上、最後まで面倒^{めんどう}をみる責任が人間にはあるということです。もうとても飼い続けることができないう状態になったとき、殺すのはかわいそうだからといって逃^にがしてしまうのは、一見その動物への愛情のようにみえながら、実はとても無責任なことなのです。

先ほどのテレビ番組に出ていた主婦は、家族全員が傷だらけになったけれども、最後までアライグマを飼い続けたと言っていました。彼女は今アライグマを飼わないようにしようという運動をしているといえます。自分の過^{あやま}ちに対して責任をとり、その上でその後の生き方に生かしていくという彼女の態度は見習うべきでしょう。けれども、そのような態度をとることのできるのはごく限られた人であることも現実です。アライグマの大繁殖は、そのことの悲しい証明といえそうです。

〔本文は、本校国語科による。〕

- 問一 ― A・B・Cの意味として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。
- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| A 「なりかねない」 | B 「とりこにし」 | C 「持ち前の」 |
| ア なったらいへんだ | ア とり残し | ア ある程度備わっていた |
| イ なつてもしかたがない | イ わなにかけ | イ 努力して身につけた |
| ウ なつてもおかしくない | ウ 団結させ | ウ もともと持っていた |
| エ なつたらどうするか | エ 夢中にさせ | エ 前から隠し持っていた |
- 問二 ― 1 「日本で大繁殖をすることになってしまった」とありますが、どうしてそうなったのか、まとめなさい。
- 問三 ― 2 「人間にとって都合の悪い動物はどんどんこの世から排除していつてよいという考え方はとても危険です。」とありますが、それはなぜですか。
- 問四 ― 3 「この考え」とはどういう考えですか。
- 問五 ― 4 「アニメに登場したアライグマのかわいさに感動して、本物のアライグマを飼ってしまう人は、スクリーンに映し出された俳優に殺到するファンと五十歩百歩なのです。」とありますが、それはなぜですか。

【二】 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

著作権上の都合により文章の掲載を省略しました

著作権上の都合により文章の掲載を省略しました

- 問一 — 1 「チャドは、もう自分の口からことばが飛び出さないでくれることを願った。」とありますが、それはなぜですか。
- 問二 — 2 「あの子がわしに会ったって、おんなじことを言うと思う」とありますが、それはなぜですか。
- 問三 — 3 「わかったよ。」とありますが、チャドは老人のどのような様子から、老人があの人を嫌いだとわかったのですか。
- 問四 — 4 「チャドは、おじいさんの心をためそうとして言った。」とありますが、チャドはどのようなことをためそうと思ったのですか。

【三】 次のカタカナの部分の漢字に直しなさい。

- | | | | |
|---|----------------|----|-------------|
| 1 | テレビ番組をシユウロクする。 | 9 | ユウビンで送る。 |
| 2 | 敵にコウサンする。 | 10 | 自動車がコショウする。 |
| 3 | キボが大きい。 | 11 | 委員会をモウける。 |
| 4 | 燃料をホキユウする。 | 12 | マフラーをアむ。 |
| 5 | 優勝したとのロウホウが届く。 | 13 | マクがあがる。 |
| 6 | 風で屋根がハソンする。 | 14 | 本をカす。 |
| 7 | カンケツにまとめる。 | 15 | 象の長いハナ。 |
| 8 | 人工エイセイを打ち上げる。 | | |